

まちかどトーク（小勢地区）議事要旨

日時：令和8年3月27日（金）19:00～20:25

場所：小勢地域交流センター

参加者：34人

1 市長あいさつ

2 市政に関する説明

「高岡市総合計画」についてチェンジ推進課から説明の後、質疑応答

参加者

第4次基本計画の5年間について、市長はどのように評価しているか。評価があつてこそ次の計画に活かされると考える。

市長

計画の目標は一定程度達成したとの認識である。過去の計画から認識は変わっておらず、歴史や文化をとといった大切なものを守っていく。第5次基本計画も過去からの延長線上であることを踏まえ、人口減少の中で「住みたいまち」を明確にし、市民や転入者を受け入れる街づくりを行う必要がある。高岡の歴史、文化、商業、自然といった多様な良さを重層的に捉え、市民のシビックプライドを高めるようなまちづくりを進めたい。

参加者

総合計画は総花的になりがちで、具体的に何をするのが見えにくいことがある。市が抱える課題などを具体的に示し、個性を打ち出すことができれば、より魅力的に映るのではないか。市長ならではの個性を出してほしい。

市長

総合計画がどの自治体でも同じような内容になりがちな点は認識している。今回の基本構想では、より尖ったものにするという共通認識で進めている。

チェンジ推進課

限られた財源の中では、事業の優先度付けや取捨選択が不可欠となる。行政が持つ情報をオープンにして計画に活用し、市民の取組もデータでサポートしたい。まちへの愛着と誇りを高めるため、富山県民の持つ奥ゆかしさも個性として捉え、まちづくりの起爆剤としていきたい。

参加者

人口減少を背景に、市民協働による地域の活動を持続させていく必要がある。多機能自治のような施策だけでなく、国の人口減少対策なども取り入れた、複層的・立体的な改革を発信する考えはあるか。

市長

行政の支援も重要だが、地域住民が主体的に立ち上がることも大切である。行政と地域住民が一緒になって地域を良くしていく取組が必要と考えている。

参加者

市のホームページには審議会の資料などが掲載されているが、市民にはあまり知られていない。計画の進捗状況など、有用な情報が市民に伝わっていないのが現状である。審議会での委員の発言要旨なども公開し、市民への情報提供を強化してはどうか。

参加者

市のホームページで総合計画審議会の資料や進捗状況の公開をしていること知らない市民が多い。総合計画審議会の要旨も公開してはどうか。

チェンジ推進課

ホームページを見ることができない方もいるため、市民にとって分かりやすい形での情報提供を随時進めていきたい。

参加者

市役所に訪れるたびに、駐車場不足で車を止める場所がない。特に雨の日は非常に困る。将来的にどのように考えているか伺いたい。

市長

駐車場不足は認識しており、すぐに結論を出せる問題ではないが、指摘を持ち帰り、市役所内で検討したい。

3 意見交換

「高岡市人口ピラミッド」を基に、市長より説明の後、意見交換

参加者

市長の公約はハードルの高いものもあったが、令和8年度当初予算で軌道修正がなされ安心している。予算について気になったことが3点ある。

1 点目は市庁舎について、市役所は市民の命と財産を守ることが一番の目的であるが、現庁舎は耐震化率が悪い。熊本地震の際、庁舎が崩れた自治体は復興のスピードも遅かった。庁舎について市民アンケートを行うとのことだが、前提として地震が起こった場合に市が所有するデータやバックアップ電源が機能しなくなるリスクを伝えたいうえでアンケートを行わないとお金の議論ばかりになる。

2 点目は病院長会議について、高岡市民病院が赤字であり連携が必要とのことだが市内の総合病院は全て赤字であり、連携することで今以上に高岡市民病院への繰出金が高額になる可能性がある。病床数は高岡医療圏として射水市、氷見市も含めて考える話であり、本来であれば県が進めることである。また、医師の確保が課題であるが、救急医療は市民に直結する問題であり最優先に進めて欲しい。高岡市民病院に勤める約500人の職員の雇用責任が市長にあることを理解してほしい。

3 点目は公立大学について、高岡法科大学を活用するとの話もあるが、高岡法科大学は平成元年に設立され、築35年を経過している。校舎の老朽化対策や教員の確保も課題である。令和8年度予算に調査費を計上しているが、調査して身の丈に合わない場合は勇気ある撤退も判断してほしい。

市長

ごもっともな意見であり、大きな問題だと認識している。市民の声を受けた公約であり進捗のスピードが遅いとの指摘もあるが、過去に行ったことのない事業をやろうとして

いるため、スケジュールもお示しできない。病院の機能分化は国・県も同じ方向性であり、将来を考えてすり合わせを行っていききたい。公約は市民との約束であり、理解を求めて進めていく。

参加者

高岡市統計書によると令和6年の上水道普及率は約91%、下水道普及率は約95%であり、小勢地区は上下水道未復旧地区である。上水道は地下水が豊富にあるため整備の優先順位が低かったが、能登半島地震の際に地下水に砂が混じり、井戸のポンプが損傷するなど災害に弱い実態がある。また、消火栓が本保地域の幹線道路にしかなく、火災時の不安もある。上水道の整備計画を教えてください。

下水道は水質汚染の防止や衛生的な問題もあるが小勢地区は当面の敷設計画がないと聞いている。合併処理浄化槽の設置を推進するための補助制度もあるが補助額内では整備ができないため、補助額を引き上げてほしい。

参加者

もともと下水道の整備対象地区だったが、財源の問題で計画から外れた経緯がある。補助金が代替措置であるならば、より手厚い支援が必要ではないか。

市長

財源の問題で計画から外れた経緯について、担当部署に確認したい。

参加者

福岡地区にあったリサイクルセンターが廃止され、剪定枝などを遠方の長慶寺のストックヤードまで運ばなければならず不便になった。試行的に南部地域で年1回無料回収を行っているが、便利になるよう検討してほしい。

参加者

剪定枝の回収は、砺波市の年に6日間と比べ、高岡市は秋に1回のみなので、開催回数を増やしてほしい。

上下水道未整備地区のため、水道料金の基本料金減免の恩恵もない。水道料金の減免について、水道が未整備の小勢地区のような地域に対しても、何らかの配慮があってしかるべきではないか。

市長

水道基本料金の減免について、結果として水道未整備地域の方々への配慮が欠けていた点についてお詫びする。

参加者

上下水道が未整備であるため、消火栓もない状況で数年の間に2回ほど火災が発生した。1件はぼやで、もう1件は消防隊現着時にすでに出火した建物が火災の最盛期であったことから全焼になったが、自然水利（用水）を活用し他への延焼はなかった。市の説明では、「シミュレーションしており、119番通報を受けた時点で延焼の程度に関わらず、ポンプ車が向かうので安心してほしい」ということであった。

参加者

小勢地区では空き家の問題もあるが、インフラが未整備なため、空き家バンクへの誘導なども進まない状況である。

参加者

小勢地域交流センター東側の田んぼの土留めコンクリートが傾き、倒壊の危険がある。
早急な対応をお願いしたい。

ボールパーク高岡が会場の剪定枝などの無料回収を利用した。醍醐地区センターで実施したときより、待ち時間が短くスムーズだった。継続してやってもらいたい。